

<2016年10月：今月の注目企業>（中国経済連合会からのご紹介）

○株式会社 広島クライオプリザベーションサービス

- ・設立：平成23年6月
- ・資本金：450万円
- ・代表：代表取締役社長 島田 昌之（広島大学准教授）
- ・事業内容：ブタ用精液希釈液の開発・製造、ブタ凍結精液受託サービス
- ・特筆事項：2012年ひろしまベンチャー大賞受賞  
2016年EYアンプレナーオブザイヤー中国地区代表  
2016年中国地域ニュービジネス大賞受賞



ブタの遺伝資源を安全に半永久的に保存

伝染病の蔓延時に遺伝資源の維持が可能  
低コストで高品質なブタ肉の生産が可能

<紹介製品> ブタ精子液状保存溶液（HIRO SWINE）

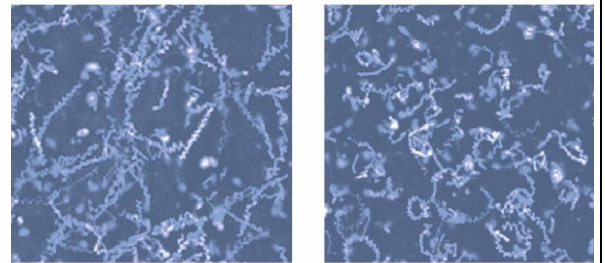
<注目技術>

人工授精技術に関する広島大学と県立広島大学の研究成果の事業化を目的として設立された大学発ベンチャーであり、精子代謝機能に着眼し、簡便な準備で高成績の人工授精が出来るブタ用人工授精溶液を開発した。

- ・ブタ精子を長期間、冷蔵保存可能な人工授精用の希釈液であるが、タンパク質が添加されていないため、安全に安定した人工授精を、簡単に実施出来る。

- 精液混合前：冷蔵庫で1カ月程度保存可能  
液状だからpHや浸透圧を最適条件で提供
- 精液混合：従来の1/3の時間で簡便に精液希釈が可能
- 精液混合後：保存中の毎日の転倒混和処理が不要で、10日間保存後でも、運動性が持続し、良好な人工授精成績が期待できる。

精子直線性の比較(精子運動軌跡)  
ブタ精子液状保存液(当社開発品) モデナ液(従来品)



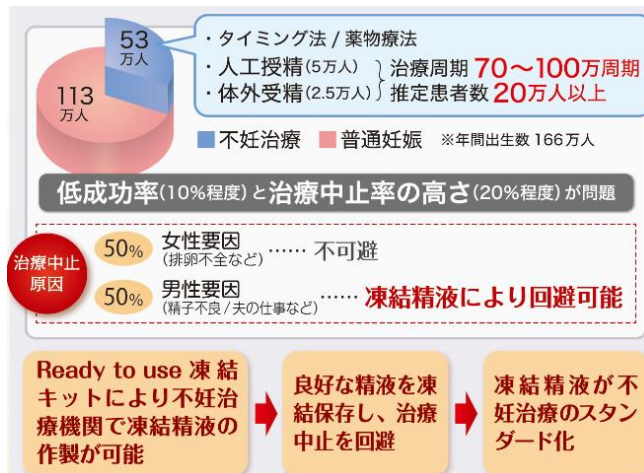
- ・従来の希釈液と比べ、精子の代謝機能に着眼し、直進運動性を高めた画期的なアプローチにより、高い受胎率と生産性を誇る。

- ・ブタの凍結精液作成技術と人工授精法について世界で初めて実用化水準の技術開発に成功。これにより、経済形質の高い種豚・単価の高い銘柄豚の凍結精子を受託生産します。

<技術展開>

Ready to use ヒト精子凍結溶液キットの開発

少子化の原因のひとつに、不妊症カップルの増加があげられる。高度生殖補助医療（人工授精・体外受精）の成功率向上と患者負担の低減に寄与する凍結精液を、より容易に不妊治療の現場で作成・利用できる、簡便化したヒト精子凍結用溶液作成キットの開発を進めています。



ブタ凍結精液受託サービス



<連絡先>

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-10-31 広島中央サイエンスパーク内インキュベーションオフィス  
株式会社 広島クライオプリザベーションサービス  
TEL : 082-421-3746 URL : <http://www.hcps.jp/>